

## 使用上の注意改訂のお知らせ

2019年12月

劇薬、処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

# レボチロキシンNa錠 25 $\mu$ g「サンド」

# レボチロキシンNa錠 50 $\mu$ g「サンド」

**サンド株式会社**  
山形県上市市新金谷827-7

日本薬局方 レボチロキシンナトリウム錠

このたび、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

【改訂内容(下線部：変更箇所)】

改訂後			改訂前		
<b>【使用上の注意】</b> 3. 相互作用 併用注意（併用に注意すること）			<b>【使用上の注意】</b> 3. 相互作用 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
コレスチラミン コレスチミド 鉄剤 アルミニウム含有制酸剤 炭酸カルシウム 炭酸ランタン水和物 セベラマー塩酸塩 ポリスチレンスルホン酸カルシウム ポリスチレンスルホン酸ナトリウム	変更なし	変更なし	コレスチラミン コレスチミド 鉄剤 アルミニウム含有制酸剤 炭酸カルシウム 炭酸ランタン水和物 セベラマー塩酸塩	省略	省略
フェニトイン製剤 カルバマゼピン フェノバルビタール	これらの薬剤は本剤の血中濃度を低下させることがあるので、併用する場合には本剤を増量するなど慎重に投与すること。	これらの薬剤は甲状腺ホルモンの異化を促進すると考えられている。	フェニトイン製剤	フェニトインは本剤の血中濃度を低下させることがあるので、併用する場合には本剤を増量するなど慎重に投与すること。	甲状腺ホルモンの異化を促進すると考えられている。
アミオダロン	アミオダロンは甲状腺ホルモン値を上昇又は低下させるおそれがあるので、併用する場合には甲状腺ホルモン値に注意し、慎重に投与すること。	アミオダロンが甲状腺ホルモンの脱ヨード化を阻害することが考えられている。			
経口エストロゲン製剤 結合型エストロゲン エストラジオール エストリオール等	経口エストロゲン製剤は甲状腺ホルモン値を低下させるおそれがあるので、併用する場合には本剤を増量するなど慎重に投与すること。	経口エストロゲン製剤がサイロキシン結合グロブリンを増加させることが考えられている。			

【改訂理由】

レボチロキシンナトリウム製剤の情報に基づき、「3. 相互作用」の項を変更いたしました。

改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報 (DSU) No. 285」に掲載されます。

改訂添付文書情報並びにお知らせ文書につきましては、弊社ホームページの「医療関係者向け情報」(<http://www.sandoz.jp/medical/index.php>)に掲載されます。

**【資料請求先】**

サンド株式会社 カスタマーケアグループ  
フリーコール (0120) 982-001 FAX(03) 6257-3633  
受付時間 9:00～17:00(土・日、祝日及び当社休日を除く)